



RaMSによる業務改革（DX）の流れ・効果

流れ図・ビフォーアフター・効果まとめ



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

業務進化ステップ：RaMS活用の3段階

【ステップ1】テレワーク実現

- データ入力・承認・報告業務のペーパーレス化
- オフィス以外でも業務遂行可能に



【ステップ2】現場作業のDX・効率化

- タブレットによる簡易点検・充填回収業務
- 現場での記録完結、再入力・転記不要
- 管理番号シールとの連携で確認漏れゼロ



【ステップ3】全社統括マネジメント改革

- RaMS-exで全社機器・冷媒の資産一元管理
- 設備更新・老朽化対策、GX対応への活用
- データ解析で脱属人化・属人リスク排除

GX:Green Transformation (グリーントランスフォーメーション) の略



STEP
1

テレワーク実現



STEP
2

現場作業のDX・効率化



STEP
3

全社統括マネジメント改革

冷媒管理システムRaMSとは «クラウド管理による、入力承認行為が何処でも可能»





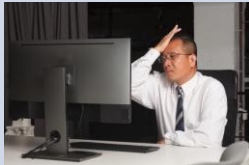


『経済産業省・国土交通省・環境省令第三号に準拠した、電磁的に保存・作成・縦覧・交付・承諾が可能なシステム』

冷凍空調機器と冷媒を「クラウド」管理 AWSクラウドコンピューティング採用

『ソフトのダウンロード、システムの構築など不要』



ビフォーアフター比較

項目	従来（Before）	RaMS活用後（After）
点検記録	紙ベース・Excel手入力／ 現場後追い入力 	タブレット現場入力／リアルタイム反映 
充填回収の記録	紙伝票・手入力・再転記 	タブレット入力／機器番号照合 
点検漏れ防止	担当者・Excel依存 	点検期日自動通知・期限色分け表示 
行程管理票の運用	紙管理／承認・押印	電子化／オンライン承認・保存
全社機器の把握	部門・拠点ごとにバラバラ	RaMS-exで全社の一覧・老朽化管理
経営層への可視化	担当者が都度集計	ダッシュボード・自動集計 

RaMS 導入：コスト改善効果（付加価値）・・・クリエイティブな業務へ



事業所

1. 都道府県立入検査への対応（法的に必要書面の即時開示）
2. ISO14001のサーベイランスでの管理状況の開示
3. 法遵守状況の管理
4. 購入機器・廃棄機器の管理
5. 冷媒漏えい対策（冷媒漏えい量管理と故障箇所解析による管理と対策）
6. 年間購入冷媒の量と金額の管理



本社（管理）

1. 算定漏えい量計算（即時）
2. 算定漏えい量報告様式による最終報告資料の作成（PDFダウンロード）
3. 各事業所の算定漏えい量管理
4. 温対法による冷凍空調機器算出（即時）
5. 事業所の法遵守状況管理（定期点検・簡易点検）：事業所立入パトロール削減

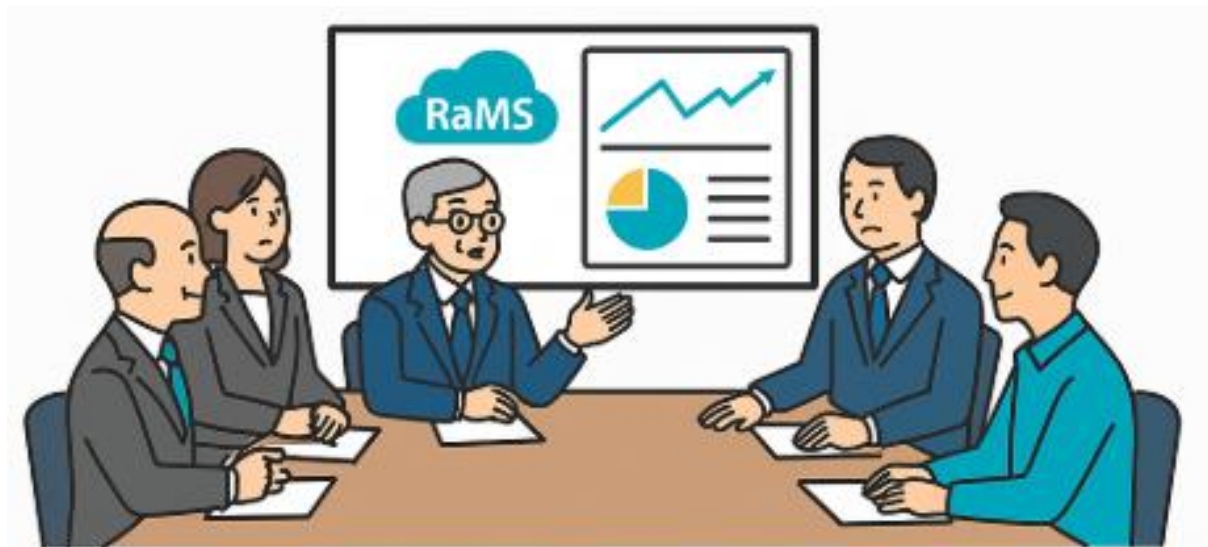


本社（経営）

RaMS-exによるエクセル出力活用とデータ解析

1. CSR・ESGレポートへのフロン排出抑制法遵守状況の反映
2. 全社の機器のメーカー別購入実績と購買計画
3. 逼迫する冷媒の購入実績と購買計画
4. 全社での機器入替長期戦略策定
5. ビジュアル化した経営会議資料の作成

経営層が冷媒管理データ（RaMS）を活用



クリエイティブな業務へ



経営層

中間層

現場・業務



- ・点検・充填回収記録の業務時間 大幅削減
- ・点検・回収の記録ミスほぼゼロ化
- ・点検漏れ防止（期日通知・色分け表示で）
- ・行程管理票の紙・押印・ファイリング不要
- ・全社での機器・冷媒の一元把握
- ・属人化解消 → 担当異動・退職でも業務継続可能
- ・経営層への可視化・資産戦略立案